

ミナミコアリクイ (*Tamandua tetradactyla*) の繁殖

下辻明音
(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園では、2016 年 3 月よりミナミコアリクイ (*Tamandua tetradactyla*) No.1 : 雄の飼育を開始し、2022 年 3 月に No.2 : 雌を導入した。2 頭は日中の同居時間を徐々に伸ばしてゆき、2023 年 1 月より夜間も同居を行い、血中プロジェステロン濃度の測定結果から妊娠が判明、エコーにて胎児が確認され、2024 年 6 月 6 日に 1 頭出産した。出産後およそ 3 時間 40 分後に授乳が確認され、その後も子は順調に生育した。今回、雌雄の夜間同居を行ったことで交尾の機会を増やすことができ、雌の妊娠に繋がらなかったのではないかと考えられる。また、母獣は人工哺育個体であったが、子の生育は問題なかった。一方で、離乳時期になっても離乳しないため、離乳を促す必要があった。また、離乳後の給餌方法による過食で軟便を認めたため、今後給餌方法については検討していく予定である。